

## 令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学校名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立本田小学校	瑞穂市教育委員会	公立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立本田小学校	<a href="http://edu-mizuho.com/honden/20220427_3541/">http://edu-mizuho.com/honden/20220427_3541/</a>

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立本田 小学校前期	<a href="http://edu-mizuho.com/honden/20221014_4125/">http://edu-mizuho.com/honden/20221014_4125/</a>	<a href="http://edu-mizuho.com/honden/20221014_4125/">http://edu-mizuho.com/honden/20221014_4125/</a>
瑞穂市立本田 小学校後期	<a href="http://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/">http://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/</a>	<a href="http://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/">http://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/</a>

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

#### <特記事項>

HPにて、特別の教育課程特例校の概要や、行う理由について公表している。

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

瑞穂市の現状と同様、本田小でも年々外国人児童が増加している。どの国の児童にとっても共通のコミュニケーションツールである英語を1、2年生の早い段階で導入することで国や文化が違って互いの良さを受け入れる人間関係が自然に生まれつつある。また、楽しい活動を通して学べるカリキュラムであるため外国語の授業を楽しむ児童が大変多いのが一番の成果である。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

1、2年生から英語に慣れ親しむことで2年生から3年生への接続がとてもスムーズであった。また学習した単語や文を積極的に使って仲間とコミュニケーションを図ることもできた。しかし決められた英文しか使用できずパフォーマンステストでつまづく児童がいた。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示した課題を踏まえ、本年度も職員研修の必要性を感じる。思考しながら英語を使う必然性のある言語活動を仕組む研修を取り入れていくべきであると考え。さらに授業参観を通して保護者、地域へも発信していく。

#### <実施状況に関する特記事項>

ALTが週に4日勤務できる体制であるため、1～6年のどの学級も週に一度はALTが話す英語にふれることができている。また1、2年生の外国語活動年間カリキュラム(25時間分)も作成できており、授業者も計画的に実施することが可能になっている。